SBI Holdings

株主通信

SBIホールディングス株式会社

第19期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日

【証券コード：8473】

株主の皆さまへ …… 01
決算ハイライト …… 03
セグメント別業績の概況 …… 04
連結財務諸表 …… 05
特集：中長期的に取り組むSBIグループの3大戦略 …… 07
トピックス …… 09
サービス紹介 …… 11
会社概要・株式の状況 …… 18
株主メモ …… 19

中長期にわたる持続的成長の実現に向け株式市場に過度に依存しない収益構造への移行をさらに推進

SBI ホールディングス株式会社
代表取締役 執行役員社長
北尾 吉孝

事業環境および連結業績について

株主の皆さまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2017年3月期上半期（2016年4月～9月）における我が国経済は、外国為替市場において円高が進んだことで、企業業績や景況感に足踏みがみられ、個人消費も力強さを欠く状況で推移いたしました。また中国および新興国経済の減速や英国のEU（欧州連合）離脱問題などの海外経済の不確実性の高まりにより、景気の先行きは不透明な状況にあります。このような経済環境の中で、国内株式市況は低調に推移し、2市場合計※の個人株式委託売買代金は前年同期比29.0%減少しました。

このような事業環境の中、当社の今上半期の連結業績は収益（売上）が1,213億円（前年同期比5.3%増）、税引前利益が173億円（前年同期比13.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が142億円（前年同期比7.8%増）となり、株式市場に過度に依存しない収益構造への転換が着実に進んでいると考えています。

※東京・名古屋証券取引所に上場している内国株券（マザーズ、JASDAQ、セントレックス含む）

2017年3月期上半期決算のハイライト

金融サービス事業では、金融生態系の構築による相乗効果・相互進化により、顧客基盤の急拡大と、株式市場に過度に依存しない収益構造への移行が同時並行的に進展しています。その結果、設立後1～2年のものを除き、ほぼすべての金融サービス事業各社において黒字基調を維持できる利益基盤が構築されました。しかも、設立から年月を経るごとに収益力の強化が進んでいます。

アセットマネジメント事業では、国内外のファンドにおいて順調に資金調達が進んでおり、今後運用パフォーマンスについてもFinTechファンド（名称：FinTechビジネスイノベーション投資事業有限責任組合）を中心にさらなる向上が期待されます。

バイオ関連事業においては、創薬パイプラインの充実が順調に進むとともに各々の臨床試験等も順調に進展し、将来が大いに期待されます。さらにALA（5-アミノレブリン酸）関連事業は今上半期に黒字を達成しました。今年度、初めての通期黒字化を見込んでいます。

株主還元について

当社は、配当政策の基本方針として、年間配当金について最低配当金額として1株当たり10円の配当を実施することとし、持続的な成長のための適正な内部留保の水準、当面の業績見通し等も総合的に勘案し、さらなる利益還元が可能と判断した場合にはその都度引き上げることを目指すとしています。また、配当に自己株式取得を加えた総還元額の水準について、当面の間は親会社の所有者に帰属する当期利益の40%を目安として株主還元を実施することを目指しています。

1株当たりの配当金

	中間	期末	年間
2017年3月期（予想）	10円	未定	未定
2016年3月期（実績）	10円	35円	45円

今期は、2016年8月3日から9月5日において約80億円の自己株式取得を実施しておりますが、業績が堅調に推移していることや株式市場等の状況を勘案し、前期に引き続き中間配当を1株当たり10円で実施することとしました。

持続的成長の実現に向けた各事業における取り組み

金融サービス事業

さらなる成長と収益力強化を実現するため、各事業で商品・サービスの多様化等を推進しています。

証券関連事業においては、2017年の制度変更により、今後拡大が見込まれる個人型確定拠出年金（iDeCo）の利用促進を図る取り組みを強化しているほか、お客さまの資産を国内外の多様な商品へ分散いただけるようグローバル・アセット・アロケーションの体制構築を進めており、2016年10月には金のリアルタイム取引を提供するべく米国Gold Bullion International LLC.との合弁でSBIゴールドを設立しました。銀行関連事業では、日本銀行によるマイナス金利政策の発表以降高まる住宅ローンの借換え需要の取り込みに注力しているほか、新たな収益源としてアクワイアリング事業（カード加盟店サービス）へ新規参入しました。保険関連事業ではSBI損保が新商品として火災保険の販売を開始したほか、保険事業の収益力強化のため、再保険会社を設立しました。

アセットマネジメント事業

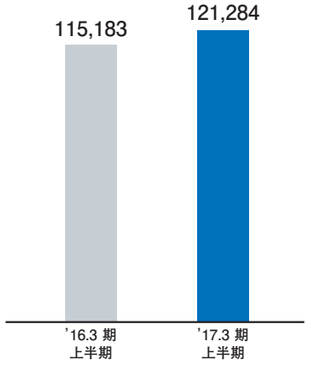
ベンチャーキャピタル事業において、FinTechファンド等を通じて、ブロックチェーン技術等のFinTech、IoT、ビッグデータ等の新たな技術革新分野への投資を拡大しています。さらに、活性化するCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンドの出資約束金額は累計で最大250億円にのぼるほか、韓国においてはSBIインベストメントコリアによる2016年の累計ファンド組成額が最大300億円超を見込んでいる等、国内外で新規ファンドの設立を推進しています。

バイオ関連事業

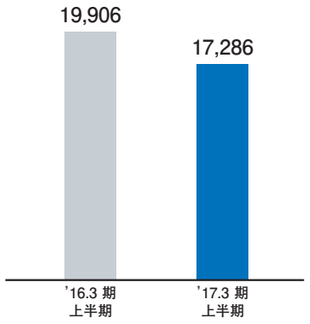
ALA関連事業ではSBIファーマの早期収益化に向け、徹底的な経費削減を図るほか、医薬品、健康食品分野でのライセンスアウトを推進しています。さらに、ALA健康食品の取扱店（2016年9月末時点で10,000店舗以上）拡大に向けた取り組みや、RIZAPグループとの協業による、ALA製品のさらなる市場拡大に向けた取り組みを進めています。また機能性表示食品の開発をALA関連事業の重点戦略の一つとしており、日本のマーケット向けに、「アラプラス 糖ダウン」に続く新たな機能性表示食品の開発を、広島大学や順天堂大学と共同で進めています。

決算ハイライト（国際会計基準（IFRS）に準拠）

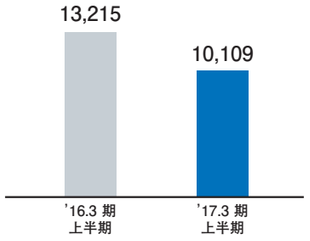
収益（百万円）



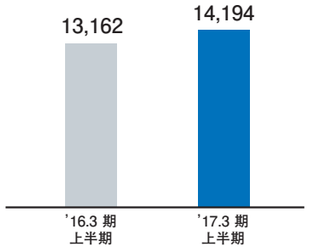
税引前四半期利益（百万円）



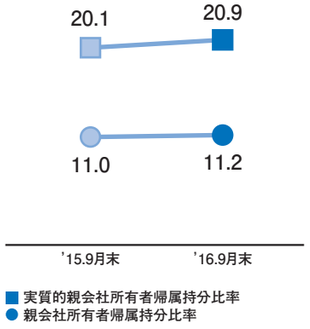
四半期利益（百万円）



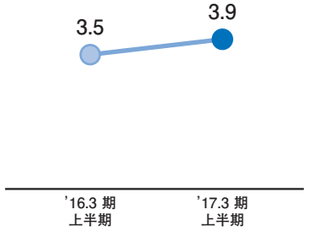
当期利益のうち親会社の所有者への帰属分（百万円）



実質的親会社所有者帰属持分比率※1（%）
親会社所有者帰属持分比率（%）



親会社所有者帰属持分四半期利益率（ROE）（%）



※　百万円未満四捨五入
※1 証券会社特有の資産・負債勘定の影響を考慮した実質的な親会社所有者帰属持分比率

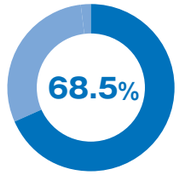
セグメント別業績の概況（2017年3月期上半期）

■ 金融サービス事業

収益　**83,563百万円**
（前年同期比 6.9% 増）

税引前四半期利益　**25,298百万円**
（前年同期比 1.0% 増）

収益構成比率



前年同期に比べ株式市況は低調であったにも関わらず、FX収益を中心としたトレーディング損益の好調等を理由として、SBI証券の連結業績（日本会計基準）は親会社株主に帰属する四半期純利益において増益を達成しています。また、IFRSベースで前期は赤字であったSBI損保が黒字化するなど保険事業が堅調に推移したことに加え、住信SBIネット銀行の持分法による投資利益も前年同期比57.2%増加しました。

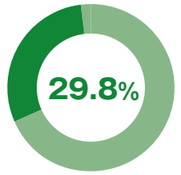
その結果、金融サービス事業の業績は、収益が前年同期比6.9%増、税引前利益が同1.0%増と増収増益を達成しています。

■ アセットマネジメント事業

収益　**36,327百万円**
（前年同期比 9.1% 増）

税引前四半期利益　**2,877百万円**
（前年同期比 3,139百万円 増）

収益構成比率



今上半期のアセットマネジメント事業の収益は前年同期比9.1%増の363億円、税引前利益は赤字から一転し前年同期比31億円増の29億円と増収増益を達成しました。

個別業績でみると、韓国のSBI貯蓄銀行が正常債権の積み上げなどにより安定的に利益貢献していることに加え、資産運用サービス事業のモーニングスターは7期連続の増益を達成しました。

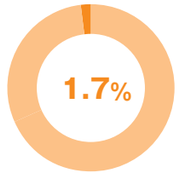
なお、当社グループ投資先の今期におけるIPO、M&A案件は前期実績の16件を上回る19件を見込んでいます。

■ バイオ関連事業

収益　**2,027百万円**
（前年同期比 39.3% 減）

税引前四半期利益　**▲5,178百万円**
（前年同期比 4,936百万円 減）

収益構成比率



今上半期のバイオ関連事業は前年同期比で税引前損失が拡大しています。主な要因は、SBIバイオテックの完全子会社であるクォーク社において、2本のフェーズⅢを含む複数の臨床試験が順調に進行中であることから研究開発費等が増加したことにあります。一方、SBIバイオテックは臨床試験の進捗に伴うマイルストーン収入等により上半期での黒字を達成しました。

また、ALA関連事業については、SBIファーマにおいて糖尿病およびマラリア治療薬のライセンスアウトに伴う契約一時金により同じく上半期黒字を達成しました。

※ セグメント別の収益構成比率は、金融サービス事業・アセットマネジメント事業・バイオ関連事業の収益合計に対する構成比率を記載しています。

連結財政状態計算書（百万円）

科目	前期末 2016.3.31	当第2四半期末 2016.9.30
資産		
現金及び現金同等物	248,050	290,369
営業債権及びその他の債権	369,006	388,230
証券業関連資産		
預託金	1,139,908	1,160,672
信用取引資産	516,843	492,424
その他の証券業関連資産	251,924	242,230
証券業関連資産計	1,908,675	1,895,326
その他の金融資産	29,215	28,130
営業投資有価証券	118,886	89,294
その他の投資有価証券	173,907	173,464
持分法で会計処理されている投資	43,853	85,898
投資不動産	12,027	9,581
有形固定資産	11,778	9,830
無形資産	188,454	175,677
その他の資産	22,607	23,738
繰延税金資産	326	363
資産合計	3,126,784	3,169,900

科目	前期末 2016.3.31	当第2四半期末 2016.9.30
負債		
社債及び借入金	324,585	349,098
営業債務及びその他の債務	38,759	60,837
証券業関連負債		
信用取引負債	85,677	110,461
有価証券担保借入金	344,423	291,992
顧客からの預り金	573,957	610,052
受入保証金	533,862	540,055
その他の証券業関連負債	222,424	214,835
証券業関連負債計	1,760,343	1,767,395
顧客預金	386,027	408,645
保険契約負債	154,133	150,450
未払法人所得税	7,066	7,206
その他の金融負債	12,899	12,214
その他の負債	13,396	11,207
繰延税金負債	10,513	11,313
負債合計	2,707,721	2,778,365
資本		
資本金	81,681	81,681
資本剰余金	145,735	144,425
自己株式	▲ 19,132	▲ 27,110
その他の資本の構成要素	17,107	2,453
利益剰余金	146,199	153,123
親会社の所有者に帰属する持分合計	371,590	354,572
非支配持分	47,473	36,963
資本合計	419,063	391,535
負債・資本合計	3,126,784	3,169,900

POINT 1　資産合計／負債合計／親会社の所有者に帰属する持分合計

韓国のSBI貯蓄銀行の貸出および預金が順調に増加したことなどから、資産では営業債権及びその他債権が192億円、負債では顧客預金が226億円増加しました。また一部保有銘柄の持分が増加し保有目的を変更したこと等から、営業投資有価証券が減少し、持分法で会計処理されている投資の残高が420億円増加しました。これらを背景として、資産合計が431億円、負債合計が706億円増加しました。なお今上半期には、総額約80億円の自己株式を取得したことなどから、資本のうち親会社の所有者に帰属する持分合計が170億円減少しています。

連結損益計算書（百万円）

科目	前第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2016.4.1～2016.9.30
収益	115,183	121,284
費用		
金融収益に係る金融費用	▲ 8,641	▲ 6,581
売上原価	▲ 33,282	▲ 45,334
販売費及び一般管理費	▲ 47,688	▲ 47,320
その他の金融費用	▲ 2,560	▲ 1,893
その他の費用	▲ 4,100	▲ 4,831
費用合計	▲ 96,271	▲ 105,959
持分法による投資利益	994	1,961
税引前利益	19,906	17,286
法人所得税費用	▲ 6,691	▲ 7,177
四半期利益	13,215	10,109
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,162	14,194
非支配持分	53	▲ 4,085

POINT 2　収益／税引前利益／四半期利益

売上高に相当する収益は、黒字化したSBI損保において保険契約から生じる収益が約50億円増加したことなどから、前年同期比5.3%増の1,213億円となったものの、税引前利益、四半期利益はそれぞれ減益となっています。一方で親会社の所有者に帰属する四半期利益は同7.8%増の142億円となりました。これは赤字子会社が計上した損失について、外部株主の持分に応じてその一部が非支配持分に計上されたためです。

連結包括利益計算書（百万円）

科目	前第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2016.4.1～2016.9.30
四半期利益	13,215	10,109
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	290	▲ 8
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	▲ 12,905	▲ 14,000
持分法適用会社のその他の包括利益に対する持分	▲ 525	▲ 721
税引後その他の包括利益	▲ 13,140	▲ 14,729
四半期包括利益	75	▲ 4,620
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	99	▲ 459
非支配持分	▲ 24	▲ 4,161

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（百万円）

科目	前第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2016.4.1～2016.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 64,594	44,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,874	3,697
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,485	3,535
現金及び現金同等物の増減額	1,765	51,708
現金及び現金同等物の期首残高	290,826	248,050
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	▲ 5,368	▲ 9,389
売却目的保有資産への振替	▲ 2,244	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	284,979	290,369

POINT 3　営業活動によるキャッシュ・フロー

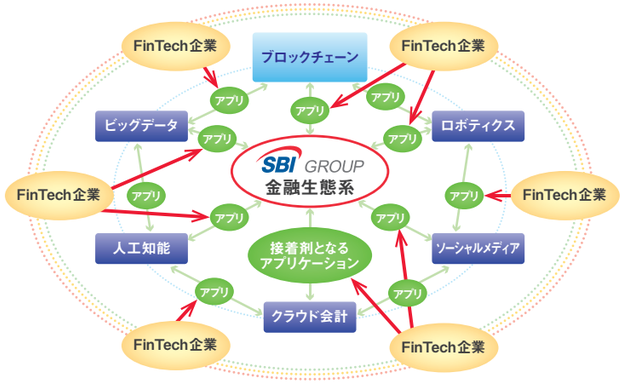
韓国のSBI貯蓄銀行の順調な業容拡大に伴い貸付金が増加した一方で顧客預金も増加したことに加え、SBI証券において証券業関連資産及び負債の増減に伴いキャッシュ・フローが増加したこと、また税引前利益を173億円計上したことなどから、営業活動によるキャッシュ・フローは445億円の収入となりました。

SBIグループでは、1999年の創業以来、日本のインターネット金融の発展を牽引してきました。今後、さらなる企業価値の向上に向け「中長期的に取り組むSBIグループの3大戦略」として、以下の取り組みを推進していきます。

1 完成した金融生態系を進化させた“新FinTech生態系”の構築

SBIグループは設立以来16年で、世界で極めてユニークなインターネット金融を中心とした金融コングロマリット（金融生態系）を確立しました。

今後、金融業に関する技術革新をいち早く取り入れ、より進化した金融生態系である“新FinTech生態系”を3年以内に構築します。“新FinTech生態系”ではブロックチェーン技術を中核とし、FinTech企業と従来の金融システムの接着剤となるべきアプリケーションを、様々なFinTech企業と共同開発し、革新的な金融サービスの提供を目指します。



現在、昨年12月に設立した出資約束金総額300億円のFinTechファンド等を通じて、新技術革新の旗手たるFinTechベンチャー企業への投資を推進しており、FinTechファンド、SBIホールディングス等合わせてすでに27社、140億円超※の投資を決定済みです。また、投資先FinTechベンチャー企業の有する新技術を当社金融サービス事業へ積極的に活用し、早期に新サービスを開始していきます。

※2016年10月現在

2 地域金融機関との提携強化による地方創生への貢献

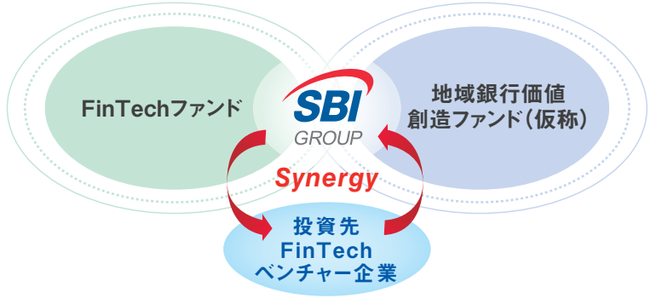
日本銀行のマイナス金利政策により銀行収益の悪化や企業価値の減少が起こっていることに加え、金融イノベーションの発展・進化によりFinTechベンチャー企業が台頭していること、さらに長期的には高齢化や人口減少社会の到来による地域経済の衰退・縮小が見込まれるなど、地域金融機関を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。地域金融機関は、資本効率を鑑みた株式持ち合いの見直しや、ガバナンス構造の改革が求められており、加えてFinTechベンチャー企業との協業による革新的なBPR※および顧客リーチの拡大等も必要になってきます。

SBIグループは多くの課題に直面する地域金融機関との提携を強化し、SBIグループが保有する経営資源の活用や、投資先FinTechベンチャー企業との連携を通じて、様々な革新的金融サービス・商品を提供することで、地域金融機関の課題解消に向けた取り組みを後押しするとともに、地方経済の活性化に貢献していきます。

※Business Process Re-engineeringの略。企業内の業務プロセスを見直し、最適化するために再構築すること。

SBIグループと地域金融機関との提携による地方創生への取り組み
～新ファンドを活用した、地域金融機関の企業価値向上～

SBIグループでは地域金融機関を対象に、FinTech導入支援等による企業価値向上のための新ファンド「地域銀行価値創造ファンド（仮称）」を設立予定です。



ファンドを活用して銀行間の株式持ち合いを解消し、資本の有効利用を促すとともに、地域金融機関のFinTech導入を後押しするべく、FinTechファンドの投資先FinTechベンチャー企業のサービス・システムをパッケージ化して提供する予定です。例えば、クラウドファンディングを活用した中小企業・個人事業主への資金提供スキーム、地方事業者が簡単にネットショップ開設を行えるプラットフォーム、さらにはブロックチェーン技術を活用した地域通貨発行の基盤となるプラットフォームなど、多様なサービス・システムのパッケージ提案を検討しています。これらの取り組みにより、地方創生に貢献する金融業を実現していきます。

3 IPOによる潜在的な企業価値の顕在化

SBIグループでは、潜在的な企業価値を顕在化させるべく、以下グループ子会社の上場を検討しています。

■SBI FinTech Solutions（仮称）

顧客属性、商品ラインアップ、提供手段等で親和性の高いグループ内FinTech関連企業をSBI FinTech Solutions（仮称）として集約させる予定です。なお、当社グループが保有するFinTechベンチャー企業の出資持分の一部を、このSBI FinTech Solutions（仮称）に移管し、同社の公開に向けてバリューアップを図る予定です。

■SBIバイオテック

SBIバイオテックは製薬業界では成長著しい領域である免疫制御による医薬製品の開発を行っています。現在、保有する創薬パイプラインのライセンス導出による収益化を進めており、上場要件の充足に目処が立ったものと考えています。

■保険持株会社

広範囲な事業を展開する当社グループの経営の柔軟性を維持するとともに、損保、生保、少額短期保険3社を一体化して運営することで保険事業のシナジー効果を高め、効率的な経営を実現するべく、グループの保険会社を統轄する保険持株会社の設立を進めています。さらに、FinTechの活用など先進的な取り組みも進め、新しい時代の保険グループの確立を目指しています。

トピックス ～SBIグループの最近の出来事をご紹介します～

ブロックチェーン技術等を活用した決済プラットフォームの開発に着手！

SBIホールディングスとSBI Ripple Asiaは、住信SBIネット銀行やみずほ銀行、りそな銀行を含む計42の金融機関と2016年10月に「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」を発足しました。

本コンソーシアムでは、当社グループが出資するリップル社が開発したブロックチェーンなどの新技術を用いた次世代決済基盤を基に、国内外為替を一元的に行う決済プラットフォームを構築する予定です。これにより、国内外の送金を一元化できるだけでなく、24時間リアルタイム決済や送金手数料の削減を実現し、顧客利便性の向上を図ります。

今後、コンソーシアム参加銀行を中心に、2017年3月を目処に実証実験を行い、その後の商用利用に向けた各種の検証を行ってまいります。

2016年10月25日にコンソーシアムの初回会合を開催

ウェルスナビ社との資本業務提携

SBIグループは2016年10月、最先端のテクノロジーにより世界水準の資産運用サービス（ロボアドバイザー）を提供するウェルスナビ社へ出資するとともに、FinTech事業領域の新技術・新サービスの開発を共同で推進していくことを目的としてSBI証券、住信SBIネット銀行がウェルスナビ社と業務提携契約を締結しました。

今後、両社の顧客向けにウェルスナビ社の資産運用サービスを提供していくことに加え、住信SBIネット銀行では買い物等のカード決済時に自動で少額を投資に回す、日本初の少額資産運用サービスなどの開発を検討していきます。

ウェルスナビ社との記者会見の様子

FinTechやグローバル金融市場に関する研究・提言を行うSBI大学院大学金融研究所を設立！

SBI大学院大学は、2016年10月に金融市場のさらなる発展に貢献することを目指し「SBI大学院大学金融研究所」を設立しました。

研究所理事長には竹中平蔵氏（元金融担当大臣・経済財政政策担当大臣）、所長に藤田勉氏（元シティグループ証券取締役副会長）、その他多くの有識者を研究員として迎え、金融とITの融合を目指すFinTech、為替相場を中心とするグローバル金融市場を研究テーマとします。

今後、研究会や研究発表会、論文等を通じて、研究成果を広く発信していくとともに、政界、産業界、金融界と交流し、政策立案や法制度の整備を提言していきます。

本研究所では金融市場の活性化、アカデミズムと実務の融合を目指します

SBI損保、火災保険の販売を開始！

SBI損保は自動車保険、がん保険に次ぐ第三の取扱商品として、2016年10月より火災保険の販売を開始しました。「SBI損保の火災保険」は、従来の“補償パッケージ型”の火災保険とは異なり、お客さま一人ひとりの住環境やライフスタイル、ご予算にあわせて、ご自身に必要な補償内容を自由にお選びいただける火災保険です。失火原因の上位に位置するたばこを吸わない世帯向けの「ノンスモーカー割引」など、ユニークな割引メニューもご用意しています。

SBI損保はこれからも、インターネットを最大限活用し、お客さまによりわかりやすく、より利便性の高い損害保険サービスの提供に努めてまいります。

少額短期保険事業を強化！

SBIグループは少額短期保険事業を強化するべく、2016年9月に日本少額短期保険を子会社化しました。同社は主力である賃貸入居者向けの家財保険に加え、バイク保険や自転車保険等も販売しており、約49万件※の契約を保有しています。

また、地震被災者向け保険商品を販売するSBI少額短期保険は、2016年11月より同社が取り扱う地震補償保険「Resta（リスタ）」にちなんで、社名をSBIリスタ少額短期保険に変更しました。今後、日本少額短期保険、SBIリスタ少額短期保険、さらに死亡保険・医療保険を販売するSBIいきいき少額短期保険の少額短期保険3社間で提携販売を推進するなど、シナジー効果の追求を図ってまいります。

※ 2016年9月末現在

SBIリスタ少短
SBIいきいき少短
日本少額短期保険株式会社

RIZAPグループとヘルスケア領域における新事業構想共同発表会を開催！

2016年7月12日にSBIホールディングスとRIZAPグループが共同で、「機能性食品による新規事業に関する共同記者発表会」を開催しました。

RIZAPグループとは、ALA市場のさらなる拡大を目指して2015年10月より提携しており、共同開発したALA配合のサプリメント「ACTIVE（アクティブ）」やエイジングケアサプリ「PRISTY（プリスティ）」の発売を開始するなど、すでに様々な取り組みを始めています。今後3年間でALAの認知度を70%まで高めることを目指します。

RIZAPグループとの共同記者会見の様子

住信SBIネット銀行

住信SBIネット銀行 SBI Sumishin Net Bank

Visaデビット付キャッシュカードは年会費無料、ポイント還元率は0.6%！

Visaデビット付キャッシュカードとは?

1枚のカードで世界200以上の国と地域のVisaマークがあるお店で現金感覚で買い物ができます。ご利用代金はお客さまの口座より即時に引落しますので、お金の管理がとても便利で、使いすぎの心配もなく安心です。

☑ **毎日のお買い物でポイントが貯まる！還元率は0.6%！**

毎月のご利用金額合計1,000円ごとに6円相当のポイントが貯まります。
貯まったポイントは、1,000ポイント以上100ポイント単位で、
1ポイント=1円に交換できます。 ※海外ATMでの現地通貨引出しおよび各種手数料はポイント付与の対象外です。

☑ **年会費・発行手数料無料！**

審査不要、年会費・発行手数料は無料でご利用いただけます。

☑ **外貨普通預金口座（米ドル）からお支払い可能**

米ドルによるショッピングまたは海外ATMご利用の際に、当社にお持ちの外貨普通預金口座（米ドル）から支払可能です。

☑ **法人のお客さまもご利用可能**

一日の利用限度額は200万円までの範囲で自由に設定可能なので大きなお支払いにも便利です。万が一不正利用を被った場合は最大1,000万円まで被害を補償します。

お問合せはこちら

フリーダイヤル
0120-953-895（通話料無料）
携帯電話・PHS：0570-053-895（通話料有料）（ナビダイヤル®）
平日9:00～18:00　土・日・祝日9:00～17:00（12月31日、1月1～3日、5月3～5日を除く）
※通話料20秒10円（税抜）

ホームページ
http://www.netbk.co.jp/
すみしんSBI　検索

モバイルアクセス

2016年11月30日現在

SBI生命

SBI生命

申込がネット完結の生命保険！だから簡単＆スピーディー

スマホでも申込可能！

SBI生命
終身医療保険

入院、手術、通院から在宅医療まで一生涯保障します。

お申込みは最短8分

特徴1 退院後の**在宅医療**を**一生涯保障！**
[終身在宅医療特約]
※業界初：医師等が患者の自宅等に訪問して診療を行うための在宅医療を保障する特約として（2016年10月時点、SBI生命調べ）

※業界初

特徴2 退院後の**通院**を**一生涯保障！**
[終身通院特約]

特徴3 **先進医療**も通算 **2,000**万円まで保障！
[先進医療特約]

インターネット申込専用定期保険
SBI生命 クリック定期！

ネット限定で保険料を抑えた死亡保険

特徴1 **ネット申込**だから保険料が**お手頃！**

特徴2 最長 **80歳**まで保障が継続します

●この資料で案内している商品は、SBI 生命保険株式会社の終身医療保険（無解約返戻金型）「も。」とインターネット申込専用定期保険（無解約返戻金型）「クリック定期！」 です。
●この資料は商品の概要を説明しています。保障内容の詳細、保険金・給付金のお支払い事由等については、「契約概要および重要事項のお知らせ（注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」にてご確認ください。
●健康状態によってはご加入いただけない場合もございます。
S-1610-163-99

SBI生命公式 Facebook ページもチェック！

お問合せはこちら

終身医療保険　資料請求専用ダイヤル
0120-044-006
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

インターネット申込専用定期保険 SBI生命 クリック定期！
保険料シミュレーション、契約お申込みはこちら
http://www.sbilife.co.jp/　クリック定期　検索

SBIマネープラザ

SBI マネープラザ

個人型確定拠出年金2017年1月制度改正

プロもうなる！

税制優遇の代表格401kを100%使いきる!!

個人型確定拠出年金は2017年1月から公務員や専業主婦（夫）の方なども加入対象範囲に！

個人型・企業型 確定拠出年金セミナー開催!!

参加無料

セミナーのご予約は、下記キーワードでご検索いただくとスムーズです。

SBIマネープラザ 401k 検索

1 確定拠出年金（401k）の概要 3段階の税制メリットあり

・所得税・住民税の負担軽減?!所得控除とは？　・具体例でよく分かる401kの加入例

2 公的年金の仕組みと老後資金の考え方

・公的年金の仕組み　・老後の生活費、どれくらいかかるのか？

3 確定拠出年金（401k）、何で運用するか？ 自分に合った投資信託の選び方・組み合わせ方

・「資産分散」と「時間分散」でリスクを抑えた運用を目指す　・401kだけじゃない?!税制優遇制度のご紹介

詳しくはこちら

<SBIマネープラザ株式会社>
■第二種金融商品取引業者　登録番号:関東財務局長(金商)第2893号　加入協会:一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
■金融商品仲介業者　登録番号:関東財務局長(金仲)第385号　所属金融商品取引業者:・株式会社SBI証券（関東財務局長(金商)第44号）
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会　・日産証券株式会社（関東財務局長(金商)第131号）　加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会・PWM日本証券株式会社（関東財務局長(金商)第50号）　加入協会:日本証券業協会
■銀行代理業者　許可番号:関東財務局長（銀代）第268号　所属銀行:住信SBIネット銀行株式会社
取扱業務:円普通預金及び円定期預金の受入れを内容とする契約締結の媒介（勧誘及び受付）並びに資金の貸付けを内容とする契約締結の媒介（勧誘及び受付）
■貸金業者　登録番号:関東財務局長（1）第01504号　加入協会:日本貸金業協会　第005872号
【注意事項】当社が取扱う有価証券等及び保険商品は預金等ではなく、預金利息はつきません。また、元本保証はされておらず、預金保険制度の対象ではありません。
（金融商品仲介業について）当社は、所属金融商品取引業者の代理権は有しておりません。当社は、いかなる名目によるかを問わず、金融商品仲介業に関して、お客様から金銭や有価証券のお預かりをすることはありません。お客様が行おうとする取引について支払う金額又は手数料等は、当社の所属金融商品取引業者により異なります。
（銀行代理業について）当社は、銀行代理業に関してお客様から直接、金銭のお預かりをすることはありません。
（保険代理店業務について）当社は、募集代理店として保険契約締結の媒介又は代理を行いますが、契約の相手方は当社ではなく、保険会社となります。保険商品の内容については、必ず商品パンフレット・契約概要・注意喚起情報・ご契約のしおり・約款等にてご確認ください。
※セミナーではご紹介する商品の勧誘を行う場合があります。　[MP管理No.160000-170000_1876]【広告審査No.51265】

お客さまの想像を超えるパフォーマンスを発揮し続けることで、次世代にもつながる豊かさを実現します。

フリーダイヤル
0120-702-489
<受付時間> 平日8:00～18:00（年末年始を除く）
「株主通信を見た」とお電話ください。

ホームページ
http://www.sbi-moneyplaza.co.jp/ SBIマネープラザ 検索
お近くの店舗探し、来店予約、セミナーのお申込は、
SBIマネープラザのWEBサイトをご覧ください。

日本少額短期保険

日本少額短期保険株式会社

9月にSBIグループに仲間入りした、日本少額短期保険の「みんなのバイク保険」

みんなのバイク保険

交通事故による「全損」「半損」、そして「盗難」から大切なバイクを守る、手ごろな保険料の車両専用保険です。

この保険の特長

全損

半損　**盗難**

交通事故による「全損」のほか、
「半損」「盗難」を組み合わせて
補償内容をカスタマイズできます。

保険金をお支払いしても
等級制度に影響なし！

新車でなくてもOK!
購入金額を補償します。

保険料もお手ごろ

たとえば、人気のホンダ
CB400SUPERFOUR（購入金額50万円）の場合、
全損・半損・盗難が付いて **月々4,025円!**

ロードバイクをお持ちの方には…
手ごろな「BICYCLE保険」も新登場!

※この資料で案内している商品は、少額短期保険業者「日本少額短期保険株式会社」が引受けを行う保険です。※保険期間が1年間の掛け捨て型保険です。※このページでは、保険商品の概要のみを記載しています。※補償内容などの詳細は「ご契約のしおり」「重要事項説明書」をご覧ください。※記載している保険は、当社独自のものであり、損害保険会社および共済事業者ならびに他の少額短期保険業者、その他の事業者などが取り扱うバイクに関する車両保険等とは引受条件、補償内容、保険金の支払条件などが大きく異なります。※お客さまの個人情報については、当社利用目的以外には使用いたしません。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。なお、個人情報に関するご意見・ご相談・お問い合わせは、下記コールセンターにて承ります。
【引受少額短期保険業者】日本少額短期保険株式会社（近畿財務局長[少額短期保険]第3号）　〈募集文書番号〉2016-034（2016年10月3日作成）

商品内容のお問合せはお電話で、お見積り、お申し込みはインターネットからどうぞ！

フリーダイヤル
0120-080-828
日本少額短期保険コールセンター
受付時間：午前9時～午後5時（年末年始を除く）

ホームページ
http://www.n-ssi.co.jp/
簡単ステップでお見積りがすぐわかる！お申し込みもこちらから。

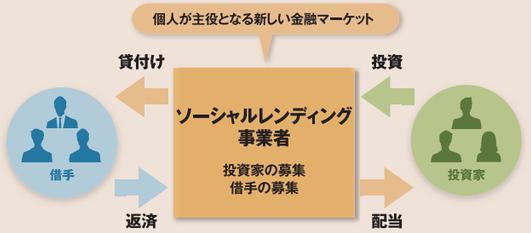
SBIソーシャルレンディング

SBI Social Lending

SBIソーシャルレンディングは、今までにない毎月分配型商品をご提供します！

ソーシャルレンディングとは?

累計運用総額
500億円突破の新しい資産運用方法
※2015年12月末



ポイント① ソーシャルレンディングとは、お金を借りたい人とお金を投資したい人を、インターネットにより結びつけるサービスで、新しい投資運用手段として注目を浴びています。

ポイント② 投資家であるお客様による、借手の審査などの難しい手続きは一切なく、貸金業者であるソーシャルレンディング事業者が借手との対応の一切を行います。

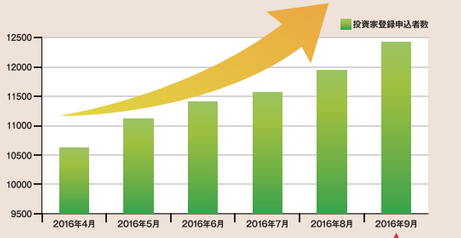
ポイント③ 投資家は借手の貸し倒れリスク等を負いますが、銀行預金といった金融商品に比べて、高い利回りを得ることが期待できます。

有担保貸付事業での実績

貸し倒れ件数0(ゼロ)&
年利2.0~6.5%

こんな方におすすめの投資です!

- 信頼できる企業で投資がしたい
- 日中は忙しくて取引を行う時間がない
- 投資を実行した後は配当を受け取るだけで面倒な手続きはしたくない
- 毎月配当金を受け取りたい



2016年9月時点
投資家登録申込者数12,400人突破

いま、投資運用手段に
SBIソーシャルレンディングを選ぶ方が増えています。

お問合せはこちら

フリーダイヤル
0120-104-168
営業時間:土日祝祭日を除く平日9:00-17:00

ホームページ
https://www.sbi-sociallending.jp/
商号:SBIソーシャルレンディング株式会社
登録番号:関東財務局長(金商)第2663号
加入協会:一般社団法人第二種金融商品取引業協会

SBIアラプロモ

SBI ALApromo

ALAのチカラで、みずみずしい肌と活力あるカラダ作りを!

◆ ALA PLUS スキンケアシリーズ

モッチリうるうる肌に

年齢肌にスッと浸透。
吸いつくようなモッチリうるうる肌に。

【保湿化粧水】
アラプラス エッセンシャルローション
内容量:150mL(約2ヶ月分)
通常価格 8,400円(税込)
定期価格 6,700円(税込)
初回限定 定期特別価格4,200円(税込)

ふっくら弾むハリ肌に

乾燥による年齢サイン、ハリ不足、毛穴の悩みに。弾むようなハリ感と濃密な潤いを与えます。

【保湿クリーム】
アラプラス モイスチャライジングクリーム
内容量:25g(約2ヶ月分)
通常価格 12,000円(税込)
定期価格 9,600円(税込)
初回限定 定期特別価格 6,000円(税込)

◆ アラプラス シリーズ

活力ある毎日へ

1粒にALA(5-アミノレブリン酸リン酸塩)を10mg配合。自分らしくアクティブに生きたい大人世代のためのエナジーサプリメント。もっと輝きたい方におすすめです。

アラプラス ゴールド
内容量:90粒(約1ヶ月分)
通常価格 9,800円(税込)
定期価格 9,800円(税込)
※アラプラス ゴールドは定期コースの割引適用外のため、通常価格と定期価格は同価格となります。
初回限定 定期特別価格 4,900円(税込)

高めの血糖値対策に

ALA(5-アミノレブリン酸リン酸塩)によって糖の燃焼を促すため、食後血糖値の上昇だけでなく、空腹時の血糖値にも働きかけるのが特長です。
1日1カプセルが目安です。

機能性表示食品
届出番号A148
アラプラス 糖ダウン
内容量:60カプセル(約2ヶ月分)
通常価格 10,584円(税込)
定期価格 8,467円(税込)
初回限定 定期特別価格 5,292円(税込)

特別限定クーポン
定期お届けコース 初回限定 半額
お申込番号 A255 有効期限(当日消印有効) 2017年3月31日

クーポンご利用方法

お電話
クーポンのお申込番号「A255」をお伝え下さい。
お客様窓口 **0120-952-755**
[受付時間]9:00~19:00(年中無休) 携帯電話・PHSからもご利用頂けます。

はがき
はがきでのご注文は、お申込番号、お名前(フリガナ)、お届け先の電話番号、郵便番号、ご住所、生年月日、商品名をご記入の上、〒841-8790 佐賀県鳥栖市本鳥栖町537-1 SBIビジネスサポート株式会社 アラプラス注文係 までお申込み下さい。

※キャンペーンのご利用は、ご購入頂く商品を初めて定期コースで申し込む方が対象となります。※定期コースの2回目以降は、定期価格となります。※定期コースの割引は、各1個までとさせて頂きます。

●代金の支払の時期及び方法:ヤマトコレクトサービスによる代金引換えにて、商品と引換えにお支払い下さい。※送料及び代引き手数料は当社が負担いたします。●商品の引渡し時期:ご注文日から10日前後でお届けします。●商品の売買契約の撤回又は解除に関する事項:商品の引渡しを受けた日から起算して8日を経過するまでの間は、商品が未開封・未使用の場合に限り、その売買契約の申し込みの撤回又はその売買契約の解除をおこなうことができます。この場合、SBIアラプロモお客様窓口まで事前にお電話にてご連絡いただいた上、お客様の送料負担にてご返送下さい。商品到着後、当社にて確認の上、お客様がお支払い済みの代金を返金いたします。●販売業者:SBIアラプロモ株式会社 東京都港区六本木一丁目6番1号 TEL:03-6229-0092 http://www.sbi-alapromo.co.jp ●商品に隠れた瑕疵がある場合の販売業者の責任:商品の品質等については万全を期しておりますが、万が一商品に不良がありましたら、返品・交換をお受けいたしますので、SBIアラプロモお客様窓口までお電話にてご連絡の上、送料当社着払いにてお送り下さい。●商品の販売条件:海外への発送はいたしません。●個人情報の取扱:当社WEBサイトに記載の「個人情報の取扱いについて」に基づき、当社商品の販売・受発注・発送・代金決済・アフターサービス、当社商品の適正使用・品質、安全性又は有効性に関する情報の収集・提供・検討・伝達、当社業務及びサービスに対するアンケート調査の依頼及び謝礼、当社の商品又はサービスに関連した情報のご案内(カタログ、ダイレクトメール、試供品などの送付)、お客様からのお問合せへの対応などのために利用させて頂きます。詳細は当社WEBサイトをご覧下さい。

お問合せはこちら

お客様窓口フリーダイヤル
0120-952-755
受付時間 9:00~19:00(年中無休)
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

SBIアラプロモ公式ショップ アラ・オンライン
http://www.5-ala.jp/
商品のご購入、取扱店舗のお問合せはこちらまで

SBIメディック

SBI Medic

ヘルスケアの分野で一歩進んだサービスをご提供いたします。

東京駅八重洲南口から徒歩3分！便利なロケーションです。

継続的に健康管理を行いたい方へ――SBIメディック会員制健康管理支援サービス
エグゼクティブの方向けの特別な人間ドックをビジネス拠点の東京駅で

東京国際クリニック 医科/歯科の医師がカウンセリングドクターとなり、皆さまの健康を力強くサポートいたします。

※入会金について、同時に2口以上の申込みを行う場合、2口目以降は100万円（税別）でご入会いただけます。

SBIメディック料金のご案内（税別）		
入会金	年会費	会員資格
150万円	50万円	15年

まずは手軽に検査・治療を受けたい方へ　東京国際クリニック医科/歯科はSBIメディックの提携医療機関です。

TOKYO INTERNATIONAL CLINIC
東京国際クリニック / 医科
TEL：03-5220-3377
診療日：月～金　休診日：土・日・祝祭日（第3土曜は診療）
診療時間：9：00～13：00、14：00～18：00（最終受付17：30）
主な専門治療：各種ドック・検査、点滴療法、禁煙外来、毛髪再生治療、シミ・肝斑治療、しわ・たるみ治療、保険診療

TOKYO INTERNATIONAL CLINIC
東京国際クリニック / 歯科
TEL：03-5220-2100
診療日：月～金　休診日：土・日・祝祭日（第3土曜は診療）
診療時間：10：00～19：00（最終受付18：00）
主な専門治療：歯周病治療、インプラント治療、審美歯科治療、いびき・睡眠時無呼吸症候群
※歯科は地下鉄銀座1丁目駅から徒歩1分です。

SBIメディック・東京国際クリニックへの「資料請求」「お問合せ」はこちらまでお気軽にどうぞ。

フリーダイヤル
0120-506-055
平日9：00～18：00
SBIメディック お問合せ専用窓口

ホームページ
https://sbi-medic.tokyo
東京国際クリニック/医科　www.tic.or.jp
東京国際クリニック/歯科　www.period.tokyo

会社概要

社名	SBIホールディングス株式会社
英文表記	SBI Holdings, Inc.
本社	東京都港区六本木一丁目6番1号
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
設立	1999年7月8日
資本金	81,681百万円
従業員数	連結4,324名　単体181名

役員

代表取締役 執行役員社長	北尾 吉孝
代表取締役 執行役員副社長	川島 克哉
代表取締役 執行役員副社長	中川 隆
取締役 執行役員専務	朝倉 智也
取締役 執行役員常務	森田 俊平
取締役 執行役員常務	中塚 一宏
取締役 執行役員常務	髙村 正人
取締役 執行役員常務	重光 達雄
取締役 執行役員	山田 真幸
取締役	吉田 正樹
取締役（社外）	永野 紀吉
取締役（社外）	渡邊 啓司
取締役（社外）	玉木 昭宏
取締役（社外）	丸物 正直
取締役（社外）	佐藤 輝英
取締役（社外）	ワイズマン 廣田 綾子
取締役（社外）	佐竹 康峰
取締役（社外）	竹中 平蔵
常勤監査役	藤井 厚司
監査役	多田 稔
監査役（社外）	関口 泰央
監査役（社外）	永末 裕明

株式の状況

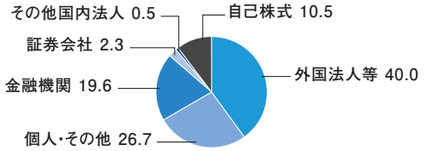
発行可能株式総数	341,690,000 株
発行済株式総数	224,561,761 株
株主数	140,819 名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口）	10,046,430	5.0
NORTHERN TRUST GLOBAL SERVICES LIMITED RE 15PCT TREATY ACCOUNT (NON LENDING)	9,502,390	4.7
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	7,545,800	3.7
ジェーピー モルガン チェース バンク 385164	4,470,400	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口9）	4,276,800	2.1
サジヤツプ	3,887,340	1.9
北尾 吉孝	3,807,960	1.8
ザ バンク オブ ニューヨーク 133524	3,550,636	1.7
ステート ストリート バンク ウエスト クライアント トリーティー 505234	3,221,232	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口7）	3,171,500	1.5

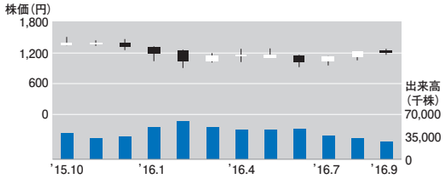
※持株比率は自己株式を控除し、小数点以下第2位を切り捨てて表記しています。

所有者属性別株式分布状況（%）



※小数点以下第2位を切り捨てて表記しています。

株価／出来高の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については3月31日です。その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324（フリーダイヤル）　受付時間　9:00～17:00（土・日・祝日を除く）
公告方法	電子公告により行う※。
公告掲載 URL	http://www.sbigroup.co.jp/investors/koukoku/

※ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元未満株式の買取・買増請求のご案内

当社では2012年10月1日より、単元株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。

単元未満株式（1株～99株）をご所有の場合「単元未満株式の買取請求」により当社に買取請求し、売却することができます。
また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株式数（100株）に不足する数の株式を買増請求し、1単元（100株）とすることもできます。
この制度をご利用になる場合は、右記の口座管理機関へお問合せください。
なお、上記買取・買増請求以外に、単元未満株式の独自の取引サービスを取り扱っている証券会社もございます。詳しくは、お取引の証券会社へお問合せください。

※お手続きにあたり、お取引の証券会社等より手数料を請求されることがあります。また、期末等の基準日前の一定期間に加え、その他受付停止期間が設定された場合、買取請求および買増請求の受付を停止致しますので、あらかじめご了承ください。本案内は単元未満株式を保有されている株主の皆さまを対象に、株式に関する諸手続についてご案内するものです。特定の証券会社との取引の勧誘や、単元未満株式の買取請求または買増請求の勧誘を目的とするものではありません。これらについては、必ずご自身のご判断により行ってくださいますようお願い申し上げます。

① 証券会社の口座に記録された株式をお持ちの株主さま

↓

お取引の証券会社へお問合せください。

② 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さま

↓

上記「株主メモ」に記載のみずほ信託銀行証券代行部へお問合せください。

SBIホールディングス株式会社

〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号
TEL：03-6229-0100
E-mail：inq-ir@sbigroup.co.jp

〈免責事項〉
この報告書には、SBIホールディングス（株）およびグループ会社の現在の計画、戦略、および将来の業績見通しに関する記述が含まれています。これらは各資料発表時点においてSBIホールディングス（株）の経営方針により、入手可能な情報およびSBIホールディングス（株）が合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、様々な要因の変化により、実際の業績は、記述されている見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

VEGETABLE OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC www.fsc.org
FSC® C019338